

## 浦庄小学校：「学力・学習状況」改善プラン

### 目標等

#### (1) 学力について

重点目標：わかることに喜びを感じ、ねばり強く最後まで取り組む力を身につけさせる。		
具体的目標	数値目標	具体的方策
わかる授業にするための工夫改善を図る。(TT 指導や少人数指導を充実する)	算数科で振り返りカードを実施し、わかったという児童の割合を90%以上にする。	算数科を中心に全学年で複数の教員による指導を行い、つまずきのある児童の早期発見と適切な指導に努める。
わかる授業にするための工夫改善を図る。(TT 指導や少人数指導を充実する)	標研式 CDT 学力検査で A または B を低学年 95%以上、中学年 90%以上、高学年 85%以上にする。	算数科を中心に全学年で複数の教員による指導を行い、つまずきのある児童の早期発見と適切な指導に努める。
学習活動に対する集中力と漢字・計算のスキルを高める。	漢字・計算検定を実施し、正答率を低学年 90%以上、中学年 85%以上、高学年 80%以上にする。	朝の学習の時間に書き取りや漢字・計算ドリル学習を行い、漢字・計算のスキルを高めるとともに、学習活動に対する集中力を高める。

#### (2) 学習状況について

重点目標：自分を大切に、友達を大切にできる子どもを育成する。		
具体的目標	数値目標	具体的方策
自分から進んであいさつができるようにする。	あいさつカードを作成し、自己達成率100%を目指す。	教職員から進んであいさつをするとともに、児童朝会、朝・帰りの会、各種行事、登校指導時など、あらゆる機会を通じて、担任はもとより全職員がすべての子どもたちとふれ合う中で、相手や場に応じた適切な言葉遣いや気持ちの良いあいさつができるよう指導する。